

寒椿となわとび

鏡味富美子

登場人物

母 女

何処からともなく聞こえる童歌。

お嬢さん お入んなさい  
ありがとう さあおいで  
じゃんけんポン あいこでシヨ  
負けたらさつさと お出なさい

舞台が明るくなると、喪服姿の女が空を眺めている。

女 煙、出ないんだ

地面を打つ縄の音が聞こえる。

女 ?

縄跳びをしている母に明り。

女 お母さん!?

母 :

女 どうして?何してるの?

母 縄跳び

女 縄跳びって:なんで?

母 人が燃えるのって結構時間かかるじゃない

女 そりゃそうだけど

母 好きなのよ縄跳び

女 :

母 なによ、そんな顔して:今にも泣きだしそう

女 火葬場でヘラヘラしてる人なんていないわよ

母 あんたも跳ぶ?

女 いい、私下手だから  
母 跳ばなきゃ上手くないわよ

縄跳びに興ずる母をしばし見ている女。

女 知らなかった…お母さんが縄跳び好きだったなんて  
母 最近跳んでなかったからね  
女 …  
母 けどあんたがお腹にいた時は大変だったのよ  
女 妊娠中に跳んだの？  
母 ええ  
女 そんなことして大丈夫？  
母 大丈夫…だったでしょ

自分の身体を見る女。

女 うん…まあ

縄跳びをやめ思い出し笑いをする母。

女 …？  
母 お徴(しるし)きちやってね、あんた予定日より十日も早く出てきち  
女 やったのよ  
母 おしるし？  
女 お産の目印みたいなもの  
母 目印  
女 椿の花びらくらいの、おしるし  
女 (ああ…)  
母 (そう)女は幾つものおしるしがあるの

記憶をたどる女。

女 じゃ私のおしるしは、小学校五年の夏休みだ

記憶をたどる母。

母 二つ目のおしるしはね、一九だった  
女 へえ  
母 (苦笑)あの時大変だったのよ  
女 大変って？  
母 驚いたんでしょね：貧血おこしちゃって  
女 女性の方が強いって言うから、そういうの  
母 だてに毎月お付き合ひしてたわけじゃないからね  
女 (笑う)けどお父さんらしい  
母 ……  
娘 ……  
母 お父さんじゃないわよ

固まる女。

女 えっ?!それって…  
母 (思わせぶりに笑う)  
女 ねえ、  
母 あんたは二一、二二だったっけ  
女 (?!?)なんで知ってるの  
母 私は母親よ  
女 ……  
母 飛び越えるものは同じ  
女 ……  
母 あんたが今思ってること、母さんも考えてた、あんたくらいの時  
女 ……

縄に入るタイミングを見計らう母。

女 ねえお母さん  
母 ん？  
女 お父さんの事…：やっぱり、いいや  
母 ……愛してたかって？  
女 なんてわかるの？  
母 質問を質問で返さないの

女 ごめん  
母 どうだったかしらねえ  
女 お父さんはお母さんの愛してた？  
母 それこそわかんないわよ本人に聞いてみないと  
女 長年夫婦やってもそうなんだ  
母 まあね

しばし考える女。

女 じゃあ…お父さんじゃなくてもいい、誰かを愛したことある？  
母 あんた  
女 親と子の愛は別よ  
母 愛の種類があるの？  
女 ……  
母 親子だって間違うことあるから  
女 実感ないんだよね、愛するとか愛されるとか  
母 ……

母の様子を察する女。

女 ごめん、お母さんには大切にしてもらったし、大好きよ感謝してる  
母 (微笑む)  
女 好きとか恋しいって気持ちはわかるんだけど  
母 愛と恋の違いってなあに？  
女 (考え)カラダがあるかないか…とか  
母 なるほど  
女 ヘンかな…私  
母 ……  
女 寂しい人かな…私  
母 ……  
女 寂しくない人なんていないわよ  
母 ……  
女 もしかしたら愛って言葉で寂しさを紛らしているのかもね  
母 寂しさを…  
女 良い事ばかりじゃないでしょ世の中って  
女 うん

母 みんなそうしてやり過ぎしてるのよ  
女 …お母さんも？  
母 ええ、そうしてきた  
女 ……しんどいね  
母 しんどいもんよ、生きるって  
女 ……

間。

母 椿の終わりって、花ごと落ちるじゃない  
女 ？  
母 バラが花びらから散るのと違って  
女 そういえばそうだね  
母 椿の様に終われたらいいわね  
女 え？  
母 紅い寒椿の様に  
女 紅い寒椿  
女 女のまんま終われたら…  
女 (びっくり)お母さんからそんなセリフ聞けると思わなかった  
母 (どうだ参ったか)あらそう

静かに笑いあう女と母。  
再び縄に入るタイミングを見計らう母。

母 いい、跳び込むコツは躊躇わないで覚悟を決める  
女 うん  
母 先へ延ばせば延ばす程入りにくくなる  
女 うん

縄に跳び込む母。

母 ♪一月 二月 三月 四月  
手折られたいな あの人の  
紅い紅い寒椿

縄を跳ぶ母を見つめる女。

女 失敗したことある？  
母 ある  
女 怪我した？  
母 した  
女 痛かった？  
母 そりや痛いわよ  
女 ……  
母 でも、傷はないよりある方がいい  
女 どうして？  
母 傷は人生の彩りだから

縄を跳ぶ母を見つめる女。

母 愛  
女 ……  
母 見つかるといいわね  
女 お母さんは見つけたの？  
母 さあね  
女 ……  
母 ♪ひとり ふたり ややこが さんにん  
女の命は寒椿 紅い紅い寒椿

縄跳びをする母の明りがだんだん小さくなる。

縄の音がピタリと止む。

静寂。

ふと空を見上げる女。

SE(滴が落ちる様な)

空から寒椿が落ちてくる。

椿を手取る女。

女 お母さん

母が跳んでいた場所と違う場所(明り変化)で縄の音が聞こえる。

女  
！？

母 ♪お嬢さん お入んなさい

躊躇う女。

母 ♪さあおいで さあおいで

縄に入るタイミングを見計らう女。

女 躊躇わないで覚悟を決める

縄に跳び込む女。

女 ♪ 女の命は寒椿 紅い紅い寒椿 紅い紅い寒椿

縄跳びを続ける女。

溶暗。

鳴り続ける縄の音は、女の生きている証のよう。

縄の音カントアウト。

椿の明り消える。

終